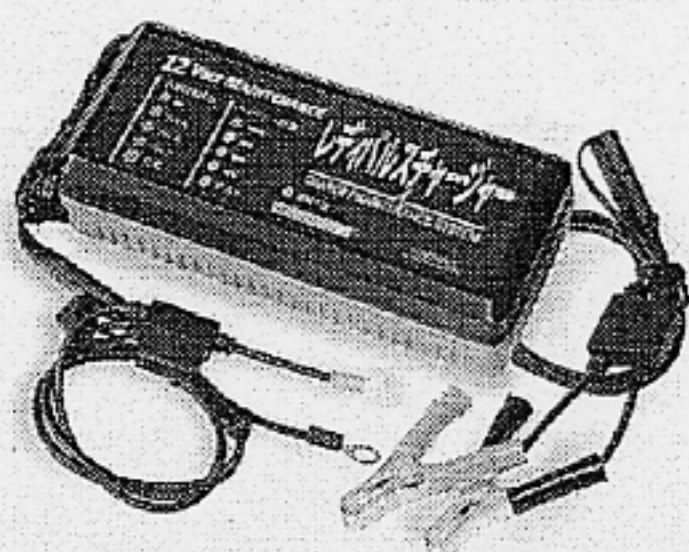


バッテリー再生装置

加地貿易が来月販売

放電での劣化を回復



から販売する。バッテリー上がりが原因の交換を減らし、廃棄量を抑制する。

バッテリーは長期間使わず放電状態が続くと、鉛の電極板に電解液成分の硫酸が結晶化(硫酸鉛)して付着し、性能が劣化する。新装置はこの電極にパルス電流を流し硫酸と鉛に分解して機能を回復させる。市販の十二トロボッテリーに対応する。

家庭用の百ボルト電源と接続した装置本体の二本のケーブルをバッテリーの両極につなぎ、五―十五時間で修復が完了する。修復と同時にバッテリーを自動充電する機能や、修復後のバッテリーの容量を新品時の性能と比較する機能を備えた。

価格は二万五千円。一年のうち特定の時期だけに使用が限られ、バッテリー交換の頻度が高い農業機械やレジャーボートの保有者を想定、年間一万台の販売を見込む。

環境関連機器を扱う中堅商社の加地貿易(東京・台東、加地正弘社長)は、長期間使わなかったために自然放電が原因で劣化したバッテリーの機能を回復する専用装置「レディパルスチャージャー」の写真を十一月